

して高齢者を孤立させないための出前交流サロン「鍋を囲んでお楽しみ会」等の事業も開催しています。

本町の自殺者数は、平成22年が6名であり、前年比5名の減でした。これまでの事業の積み重ねが少しずつ実を結んできているのではと考えていましたが、残念ながら、本年は11月末現在、推計で9名となっており、なお一層の取り組みが必要と感じています。

放射性セシウム検査について

9月16日に当町の米の安全確認のため、収穫後の米の放射性セシウムに関する「本調査」が行われました。

検査の結果、旧町ごと3地区における玄米からは、放射性セシウム「134」、「137」とともに検出されず安全性が確認され、町としても安堵したところです。

また、大根、キャベツ、ソバ、大豆、あわび茸など農協独自で出荷時期に合わせて行っている放射性物質検査においても、現在のところ不検出となっています。

野菜集出荷所について

今年度予算により補助金支出を予定している秋田やまもと農協の野菜集出荷所の起工式が、先月22日行われています。

工事は年度内に完成する見込みで、また、同時に真空予冷設備も設置となることから、市場への高品質野菜の供給と併せ、出荷業務の効率化が図られることなど、来年4月以降、施設の活用が大いに期待されることです。

水稻の作況指数

平成23年産水稻の作況指数が、12月7日発表され、県全体の作況指数は、99の平年並みで確定しています。

地区別では県北も99の「平年並み」となり、10アール当たりの収穫量は、平年比3キロ減の552キロとなっています。

また、今月1日に、平成24年産米の都道府県別生産数量目標が発表され、本県の生産数量目標は3,220トン、率にして0.7%増の443,640トンが配分されており、微増ですが対前年比での増加は5年ぶりとなっています。

この後、転作率の市町村格差縮小調整を含め、県全体での調整が行われ、今月27日に市町村別配分が確定し、通知される予定となっています。

グリーン・ツーリズム事業

三種町グリーン・ツーリズム推進協議会による修学旅行受け入れ事業が、9月14日から16日までの日程で実施されました。受け入れした学校は、岩手県大槌町の赤浜小学校と大槌北小学校の6年生と教師あわせて42名で、羽根川森林公園でのバーベキューや橋本

五郎文庫見学、農家への民泊などで受け入れを行っています。

また、10月5日から7日にかけては大槌町の赤浜小学校と安渡小学校の5年生と教師合わせて18名の体験学習も受け入れ、稲刈りやきりたんぼ作りなどの体験メニューを提供し、房住山のサンサンパークコテージ村と石倉山公園キャンプ場バンガローに宿泊しています。

今年5月24日に設立した同協議会ではこの他に、サンドクラフトの砂像甲子園参加高校生の民泊受け入れもあり、設立年度としては幸先のよいスタートが切れたものと思っています。

除雪体制について

今冬の除排雪については、委託関係業者並びに関係機関と打ち合わせ会議を開催したところであり、今年度は昨年より1台多い、町有除雪車20台、業者からの借上機械28台の計48台での除雪体制で実施します。

平常時の除雪については、降雪量10cm以上を目処に出動し、通勤通学路は早朝作業を原則として、午前7時までに作業を完了するよう実施します。また、降雪量に関わらず、強風等による吹きだまりや雪解けて通行が困難な時、路面が凍結するなどした場合は、良好な路面管理に努めるため、出動する場合があります。

なお、豪雪時等の場合は、対策本部を含め緊急体制をとり、その都度対応します。

また、冬期間は、降雪により道幅が狭くなることから、除雪作業がスムーズに出来るよう、路上駐車禁止やゴミステーション並びに消火栓周辺の除雪作業等、町民各位のご協力を併せてお願いするものです。

上下水道関係について

はじめに、公共下水道事業については、きめ細かな交付金事業による中継ポンプ2カ所と監視通報装置5カ所の更新が完了しています。

次に、温泉事業では、10月7日朝の雷による停電で、別荘地および上台分譲地向けのポンプが停止したままとなり、受給者から連絡があるまで気づかずにいたため、復旧まで時間がかかってしまい、みなさんには大変ご迷惑をおかけしたところです。今後はかかる事態を起こすことのないよう、状況に応じた施設の巡回に努めます。

次に、水道事業につきましては、11月11日の漏水修理に伴い、森岳大町地区が断水することとなりました。給水を止め、工事を行う必要があることから、断水地区には前日中に連絡をし、対応をお願いしたところです。

また、当日は、給水車および給水タンクを配置しながら水の供給に努め、予定していた夕方までに復旧することができました。